岩盤ボーリング柱状図

調査名	砂防指定地内河川　天楽川1号　通常砂防事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託（交付金）
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

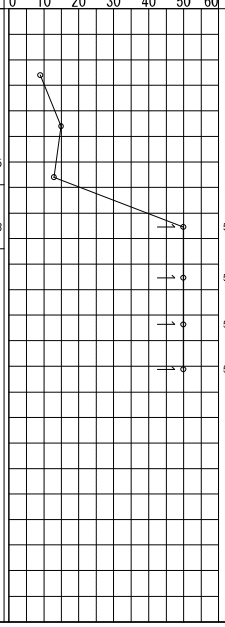
ボーリング名	№.2	調査位置	広島県三次市作木町下作木	北緯	34° 52′ 01.5900″
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	令和4年 4月12日～ 令和4年 4月15日	東経	132° 43′ 15.4500″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	TP 142.85m	角度	180 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
地盤勾配	32° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種			
試錐機	東邦地下工機D-1型				
総削孔長	7.00m	エンジン	ヤンマーディゼルNFD-13	ポンプ	東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD (%)	記事	孔内水位／測定月日
1				砂混り礫	暗褐								φ10～70mm程度の角礫が主体である。細砂を混入する。	
2	140.85	2.00												
3				礫質土	暗褐								全体にφ2～30mmの角礫を混入する。砂は細砂～中砂でシルト分を含有する。	4/15 3.45
4	139.15	3.70										[0](100)		
	138.35	4.50		流紋岩	褐～淡褐灰	w5	h3	D	VI	d	D	[0](100)	風化し、砕くと砂礫状となる。	4/18 4.70
5	137.40	5.45				w4			IV	d	CL	3[0](100)	上位より若干固結度が高くなり、所々に青灰色の未風化部が存在する。	
6						w4	h2	E				[0](90)	コアは礫状～岩片状となる。GL-6.7m以深はマトリックスが流失し、礫状コアとなる。	
7	135.85	7.00												
8														
9														
10														
11														
12														

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
9	1.15	9 / 300		
	1.45			
15	2.15	15 / 300		
	2.45			
13	3.15	13 / 300		
	3.45			
50以上	4.15	50 / 240	240	
	4.39			
50以上	5.15	50 / 230	230	
	5.38			
50以上	6.10	50 / 160	160	
	6.26			
50以上	7.00	50 / 120	120	
	7.12			

深度－N値図



原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
		4/12	2	86/ケーシング	S/MCS	1	60	0	W/0	0
					S/MC	1	60			
			2	66/ケーシング	S/打込み	0	0			
		4/13	2		HW/DI	13	130	0	W/3	3
		4/15								